

# 教材活用シリーズ 第127回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント（場面・方法）などをご紹介します。

(株)日本標準  
『ユニット楽習  
スイッチ・オン!』  
(1～6年/年刊/標準版)

子どものやる気にスイッチ・オン!



(株)日本標準  
企画編集部

1. 「主体的・対話的で深い学び」ができる教材

新学習指導要領で強調されている「主体的・対話的で深い学び」ができる教材です。意欲をもって楽しみながら、また、友だちとの対話を通して、より深く学べます。

2. 実際にご使用いただいた先生の声

●「Aが基礎、Bが思考になっており、よかったです。時刻を求める問題が子どもにとって難しかったが、じっくり考えさせるよい機会となった。」（広島県／4年）

## ▼4年 算数 A

**11A スピードチャレンジ!**

ステージ1	ステージ2	チャレンジ
① $8 \times 5 = \square$	① $8 \times 1 = \square$	① $1 \times \square = 1$
② $1 \times 3 = \square$	② $9 \times 2 = \square$	② $8 \times \square = 16$
③ $6 \times 4 = \square$	③ $8 \div 4 = \square$	③ $9 \times \square = 27$
④ $9 \times 7 = \square$	④ $7 \times 3 = \square$	④ $\square \times 8 = 48$
⑤ $7 \times 6 = \square$	⑤ $1 \times 7 = \square$	⑤ $\square \times 7 = 56$
⑥ $6 \times 9 = \square$	⑥ $9 \times 5 = \square$	⑥ $7 \times \square = 28$
⑦ $8 \times 8 = \square$	⑦ $6 \div 2 = \square$	⑦ $8 \times \square = 72$
⑧ $6 \times 6 = \square$	⑧ $7 \times 5 = \square$	⑧ $6 \times \square = 18$
⑨ $7 \times 7 = \square$		
⑩ $9 \times 9 = \square$		

▼4年 算数 B

**11B 博物館に行こう!**

多岐の日報、はるのさんは、友だちと博物館に行くことにしました。情報をもとめて、地図を見ながら、はるのさんの家から博物館までの行き方を調べよう。

① 駅から、博物館の入り口まで10分かかる乗車をします。5分前に着くためには、何時何分に家を出なければなりません。

② 博物館に行くためには、行きと帰りの乗車代、入館料、お昼ごはん代、飲み物代がかかります。乗車の乗降と博物館の入館料は、はるのさんの持っているお金の合計になります。

③ 帰って来てお昼ごはんを食べたあと、午後2時に博物館を出て帰ります。家は何時何分に帰りますか。

答え( )

答え( )

答え( )

## ▼2年 算数 B

**22B おつげに チャレンジ!**

テストの おつげを しよう! まちがえて いる とこは なおして あげよう!

さんすうテスト さんすう たろう

①  $7\text{cm} = 700\text{mm}$  ②  $4\text{cm}9\text{mm} = 49\text{mm}$

③  $680$ は  $10$ を  $68$ に あつめた 数

④  $100$ を  $9$ こ、 $1$ を  $3$ こ あわせた 数は、 $930$

⑤  $\square$ に あつた 数字を ぜんぶ 書きましよう。

①  $431 > 4\square1$  ②  $274 < 2\square5$   
( 2, 1 ) ( 7, 8, 9 )

③  $36 + 18$  ④  $7 + 59$

$\begin{array}{r} 36 \\ + 18 \\ \hline 54 \end{array}$	$\begin{array}{r} 7 \\ + 59 \\ \hline 66 \end{array}$
--	---

⑤  $52 - 43$  ⑥  $90 - 8$

$\begin{array}{r} 52 \\ - 43 \\ \hline 9 \end{array}$	$\begin{array}{r} 90 \\ - 8 \\ \hline 82 \end{array}$
---	---

## ▼5年 国語 A

**16 A リズムで読み書きしよう!**

① 似たような音で、言葉を書きなさい。

② 似たような音で、言葉を書きなさい。

③ 似たような音で、言葉を書きなさい。

④ 似たような音で、言葉を書きなさい。

⑤ 似たような音で、言葉を書きなさい。

⑥ 似たような音で、言葉を書きなさい。

⑦ 似たような音で、言葉を書きなさい。

⑧ 似たような音で、言葉を書きなさい。

⑨ 似たような音で、言葉を書きなさい。

⑩ 似たような音で、言葉を書きなさい。

⑪ 似たような音で、言葉を書きなさい。

⑫ 似たような音で、言葉を書きなさい。

⑬ 似たような音で、言葉を書きなさい。

⑭ 似たような音で、言葉を書きなさい。

⑮ 似たような音で、言葉を書きなさい。

⑯ 似たような音で、言葉を書きなさい。

⑰ 似たような音で、言葉を書きなさい。

⑱ 似たような音で、言葉を書きなさい。

⑲ 似たような音で、言葉を書きなさい。

⑳ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㉑ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㉒ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㉓ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㉔ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㉕ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㉖ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㉗ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㉘ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㉙ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㉚ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㉛ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㉜ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㉝ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㉞ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㉟ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㊱ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㊲ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㊳ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㊴ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㊵ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㊶ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㊷ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㊸ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㊹ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㊺ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㊻ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㊼ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㊽ 似たような音で、言葉を書きなさい。

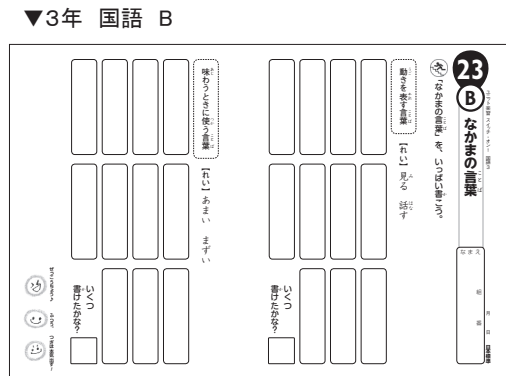
㊾ 似たような音で、言葉を書きなさい。

㊿ 似たような音で、言葉を書きなさい。

●「児童が、先生になったつもりで、丸つけができるという活動が、子どもの意欲を高めることができ、喜んで取り組んでいた。」（広島県／2年）

●「リズムよく音読ができて楽しい。たのしく漢字が覚えられる。」（茨城県／5年）

●「いろいろな言葉作りが、語彙を広げるよい機会となった。」（青森県／3年）



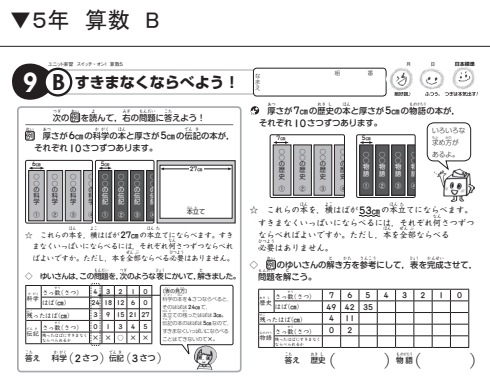
●「とても使いやすい問題集だと思います。また児童も意欲的にできているのですばらしいと思います。」（広島県／4年）

●「子どもたちが、自分の推理の理由を、筋道を立てて説明し合うのに、とても充実した時間だった。自分の考えを、みんなにわかるように説明する。よい材料となった。こういう、ミニドリルを積み重ねて、表現力をつけていけるとよいと思う。」（山口県／4年）

●「ひらがなにかくれていることばをみつける問題は、どの子も取り組めてよい。全

部見つけられなくても、答え合わせで全員が納得できるから。」（福井県／1年）

●「文章を読んで思考する内容の問題が子どもたちの読解力とも関連していて、非常に効果的だと思います。『すきまなくならべよう!』。子どもたちに任せて学習を進められるので、苦手な子にも教師がついて学習指導する時間が確保できるのがよいと思いました。」（岐阜県／5年）



●「AもBも、既習の学習内容を児童がどのくらい身に付けているのかが分かるので、初めて担任した子の実態把握ができ、5年の学習を進めていく上で、足りない部分を復習しながらでき、とても役立ちます。」（群馬県／5年）

●「算数B問題は問題量も適量で、全体的によく読む必要があるのよいと思う。」（広島県／6年）

3. 採用理由と使用場面（アンケート結果）

採用理由

- 1位 短時間学習に適している（36%）
- 2位 児童が楽しく勉強できると思った（28%）
- 3位 今までにないドリルだから（17%）

使用場面

- 1位 朝学習（39%）
- 2位 授業中（23%）
- 3位 宿題（18%）

4. 子どものやる気にスイッチ・オン！

『ユニット学習 スイッチ・オン!』は、AとBの異なる内容で構成されています。Aは1ページ5分程度、Bは1ページ15分前後の短時間でできるため、朝学習や授業の初め、帯時間などの場面でいつでも実施することができ、また、児童用に別冊で縮刷解答が付いているので、子どもたちだけでも答え合わせをすることができ、子どもたちがわくわくしながら取り組むこと必至です。